

人口減少時代に必要とされる 造園／ランドスケープ分野のあり方とは…

人口減少時代の到来は公園の役割変化を強い、造園／ランドスケープ分野以外の企業が、コミュニティ形成など新たなビジネスチャンスへと市場参入し、使い手のプロとして名乗りをあげ始めている。そこで、本イベントは、

- ①まずは、人口減少のメカニズムと克服＝コミットすべきポイント、および人口減少時代に必要とされる企業のあり方などのキーノートの提示の上、
- ②さらに、コミュニティ形成に取り組む首都圏企業の動向、造園／ランドスケープ分野に参考となる“地方企業の壁”“中小零細企業の壁”的存在、人口減少克服への大きな可能性を秘めるシビルミニマムとしての公園の可能性を示した上で、
- ③人口減少、時代の公園の使い手のプロに求められる“性能評価”への対応可否による、造園業の生き残りについての方向性を展望し、

人口減少時代に必要とされる造園／ランドスケープ分野に求められる姿を考える一助となるべく企画したものである。

日 時：平成 30 年 10 月 12 日（金）13:30～17:30（13:00～受付）

会 場：内田洋行ユビキタス協創広場 CANVAS（東京区中央区新川 2-4-7）

参加費：会員・自治体・学生 2,000 円／一般 5,000 円（定員 150 名）

※ 交流会（同会場） 18:00～ 参加費 2,000 円

申込み：10 月 9 日（火）締切 LBA 事務局へ（氏名、所属、連絡先、交流会出欠を明記）

主催：一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 ランドスケープ経営研究会

共催：一般社団法人日本公園緑地協会

後援（予定）：公益財団法人都市緑化機構／公益社団法人日本造園学会／一般財団法人公園財団／一般財団法人日本造園修景協会／一般社団法人日本造園建設業協会／一般社団法人日本植木協会／一般社団法人日本造園組合連合会／一般社団法人日本公園施設業協会／一般社団法人日本運動施設建設業協会／一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟／一般社団法人公園管理運営士公園会／一般社団法人東京都造園緑化業協会



LBA (Landscape and Business Development Association, Japan) は、
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会 (CLA) が設置する研究会です。



プログラム

1. 13:30 開会 ランドスケープ経営研究会 会長 金清典広

2. 13:40 KEY NOTE スピーチ

- ① 地方創生・人口減少克服に求められる論点整理
- ② Park-PFI と PPnet について

富山大学教授 金岡省吾

(一社) 日本公園緑地協会 常務理事 橋 俊光

3. 14:30 地方創生に資する地域課題解決、人口減少克服にコミットする事例紹介

～日本一小さい村「舟橋村」の挑戦～

コーディネーター：富山大学教授 金岡省吾

- ① 子育てコミュニティ形成に取り組むハウスメーカー

積水ハウス株式会社

- ② 子育てコミュニティ形成に取り組む使い手のプロ

AsMama

- ③ 人口減少を歯止めする子育てコミュニティ形成プロジェクト

富山県舟橋村／金岡造園／日本能率協会総合研究所

デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社

～都市公園／造園業者の可能性～

- ④ 新たな官民連携に求められる性能発注への対応

4. 16:30 パネルディスカッション／会場意見交換

5. 17:30 閉会 ランドスケープ経営研究会 代表幹事 萩野一彦



会場アクセス

内田洋行ユビキタス協創広場 CANVAS

(内田洋行新川本社：東京区中央区新川 2-4-7)

東京メトロ日比谷線「八丁堀駅」 A4 出口：徒歩 4 分

東京メトロ日比谷線・東西線「茅場町駅」 1 番出口：徒歩 5 分

JR 京葉線「八丁堀駅」 B2 出口：徒歩 6 分

LBA シンポジウム 申込書 (10月9日(火)締切) ※下記項目を明記の上、E-mail または FAX でお申し込みください

氏名（ふりがな）：	区分： <input type="checkbox"/> LBA 会員 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 一般		
所属先名称・部署：	交流会への参加 <input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない		
連絡先 住所 〒	TEL:	携帯：	E-mail